



ICT を利用した学習

本校では一人に1台が行き渡るように iPad が導入されています。日本で行われている「GIGA スクール構想」に対応する形で導入された ICT 機器ですが、実際にどのように授業で活用しているのかをご紹介します。

● 小学部

小学部では、様々な授業で iPad を活用しています。例えば、国語科の漢字の学習で書き順の確認をするために使用したり、教科書に掲載されている QR コードから関連する動画や資料を閲覧したりすることもあります。他にも算数の図形の学習や社会科の地図の学習、理科の動画閲覧等、それぞれの教科ならではの使い方で、学習の助けとなるように活用しています。また、興味のあることや調べたいことを児童生徒が自分自身で検索して、情報を手に入れられるようになっています。



● 中学部

中学部でも小学部と同様に教科の特性に合わせて、学習の助けとなるように活用しています。主要教科以外にも体育科では、運動のポイントやプロの選手の体の動かし方を調べたり、自分の動きを動画で撮影して記録したりして使っています。技術科では、ICT を使ったプレゼンテーションを作成し、人をひきつける発表をするにはどうするとよいのかを考える授業も行っています。

私たちの生活とは切っても切れない情報機器。「情報教育」という観点からパソコンやネットワークについての知識を深めたり、SNS を使う場面で正しい使い方ができるようにしたりする「ネットモラルの学習」も行っています。

